

地域力の底上げ

いざという時、あなたの地域はどう動きますか。
災害が発生した時、重要なのは普段からの地域づくりで
培われた **地域力** です。

本カレッジでは、地域社会レベルでの地域づくりの重要性について具体的で実務的な学びを深めていきます。

日 程 令和3年2月11日（木・祝）
12日（金）

会 場 市民会館シアーズホーム夢ホール
【熊本市民会館・大会議室(小ホール)】

対面でご参加の際は、マスクを着用し、受付時の体温測定及び参加中のアルコール消毒のご協力をお願いします。

※Zoomによるオンライン併用開催

定 員 60名

※会場参加、またはオンライン(zoom)のいずれも可能です。
※スクーリングの趣旨を踏まえて熊本会場の参加者を優先させていただきます。

「地方創生カレッジ」事業は、地方創生の本格的な事業展開に必要な人材を育成・確保するため、実践的な知識を eラーニング講座で提供するほか、必要に応じて実地研修も効果的に取り入れることで知識やスキルを習得できるようにする取組です。本事業は、平成27年12月に公表しました、国が行う支援の方向性を示す「地方創生人材プラン」に基づき、公益財団法人日本生産性本部を補助事業者として採択し、実施しております。

※地方創生カレッジin熊本は、eラーニング講座No.89「地方創生の課題と新しい地域振興」の内容を実際の活動に活かし、「地域力の底上げ」を図ることを目的とした内容となっています。

参加費
無料

スケジュール

1日目

13:00	受付開始
13:30	開講式
13:40	◆講義「地方創生の課題と新しい地域振興策 ～最近の課題をめぐって～」岡崎 昌之氏
14:40	◆活動報告 「ひまわり亭の取組(仮)」 本田 節氏 「益城だいすきプロジェクト・きままにの取組(仮)」 吉村 静代氏 「ましきラボの取組(仮)」 田中 智之氏
16:50	◆クロストーク 岡崎氏、本田氏、吉村氏、田中氏、椎川忍 (一財)地域活性化センター理事長
17:45 終了予定	

2日目

8:30	受付開始
9:00	◆グループワーク①
9:40	◆トークセッション 「地域づくり活動における課題抽出と課題解決に 向けた『災害に対応できる地域社会づくり』(仮)」 岡崎氏(コーディネーター)、本田氏、吉村氏、吉海氏
10:50	◆グループワーク②
12:00	◆昼食
13:00	◆発表・講評(岡崎氏、本田氏、吉村氏、吉海氏)
14:20	◆記念撮影・事務連絡・閉講式
14:30 終了予定	

お申込み・お問合せ

FAX:03-5202-0755 E-mail:kikaku@jcrd.jp 期限:令和3年2月3日(水)

(メールの場合、件名を「地方創生カレッジin熊本 受講申込」とし、本文に受講申込書の各事項を記入)

氏名	(フリガナ)	所属等(必須)	①自治体職員 ②市町村議会議員 ③民間企業 ④自営業 ⑤団体職員 ⑥学生 ⑦その他()	
			勤務先(学校)名・所属・役職	
住所	(勤務先/自宅)〒		電話(必須)	
			E-mail	
参加方法(※) 1 熊本会場 2 オンライン(zoom) 3 どちらも可能				
地域づくり団体所属の有無		有・無	団体名()	

※ 新型コロナウイルスの感染状況によっては、開催方法を変更することがあります。また、「3」を選択いただいた方はこちらから受講方法を指定させていただきます。
 ※ 申込が定員に達した場合、厳正なる抽選により受講者を決定させていただきます。なお、受講の可否は当選、落選に関わらず連絡させていただきます。
 個人情報の取扱いについて
 公益財団法人 日本生産性本部では、皆様の個人情報を以下のように取り扱います。下記の内容をご確認いただき、同意の上、本プログラムにお申込みいただきますようお願い申し上げます。なお、同意いただけない場合は、適切なサービスを受けられない場合がございます。同意いただいた後も個別に不同意の表明をすることが可能です。
 1. 利用目的:
 ①『地方創生カレッジin熊本』の実施に関する資料等の作成、プログラム開催当日や講演者・事務局打ち合わせでの利用。
 ②当本部が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、および顧客分析・市場調査のための利用。
 ③②以外の目的で個人情報を活用する場合、ご本人に個別に理由を説明し、同意を得た上で行うものといたします。
 2. 法令に基づく場合を除き、個人情報を第三者に提供することはありません。但し、本プログラムを担当する講演者等に、名簿等を確認いただく場合があります。
 3. 本プログラムの運営にあたり、業務の一部を外部に委託する場合があります。委託先に対しては、参加者へのサービスに必要な個人情報だけを委託します。
 (公財)日本生産性本部の選定基準に基づき委託先を選定し、契約により個人情報の保護を徹底するとともに、委託先に対して適切な管理・監督を行います。
 4. 本プログラムでは撮影を行う場合があります。得られた情報や撮影した画像は、本部の広報宣伝活動に使用することがあります。
 5. 個人情報について、ご本人による開示請求・訂正・削除・利用停止等を求めることが可能です。以下までご連絡ください。【連絡先】地方創生カレッジ事務局(Tel. 03-3511-4013)
 6. 個人情報保護管理者:(公財)日本生産性本部 総務部長

講師



岡崎 昌之氏(おかざき まさゆき) 法政大学 名誉教授
 岡山県生まれ。福井県立大学教授、法政大学教授を経て現職。北海道池田町、岩手県遠野市、愛媛県内子町、熊本県小国町、大分県湯布院町(現由布市)他のまちづくりや計画策定に参画。地域づくり団体全国協議会会長、福島県地域創生有識者会議座長、全国町村会「町村研究会」委員他。全国地域リーダー養成塾主任講師、自治体学会代表運営委員、観光政策審議会専門委員、国土審議会政策部会専門委員等を歴任。著書に「まちづくり再考」(ぎょうせい)、「地域は消えない」(日本経済評論社)他。



本田 節氏(ほんだ せつ) 有限会社ひまわり亭代表取締役
 熊本県相良村の専業農家生まれ。37歳の時にガンの闘病生活を経験。平成元年「ひまわりグループ」を結成し、ボランティアやまちづくり活動を開始。そこで出会った仲間たちと平成10年に食を地域資源とした拠点「ひまわり亭」をオープン。この「ひまわり亭」の取組で、平成17年「全国グリーン・ツーリズム大賞優秀賞」、平成18年「食アメリコンテスト優秀賞」受賞。平成28年、総務省ふるさとづくり大賞個人賞を受賞している。



吉村 静代氏(よしむら しずよ) 益城だいすきプロジェクト・きままに代表
 平成4年地域づくりボランティア団「益城まちおこし塾」結成、平成7年阪神淡路大震災を教訓に「防災ボランティア益城」結成、その後もボランティアイベントの開催などの地域に根ざした活動を多数展開。平成28年に発生した熊本地震の際には、指定避難所である益城中央小学校体育館に4ヶ月間避難。行政やボランティアに頼るだけでなく「できる人が、できることを、できたしこ(できた分)」を合言葉に自主運営に切り替えた。現在は、仮設住宅から災害公営住宅へコミュニティをつなぐために活動している。



田中 智之氏(たなか ともゆき) 熊本大学大学院教授
 昭和46年埼玉県生まれ。平成6年早稲田大学理工学部建築学科卒業。平成8年早稲田大学大学院修士課程修了。NASCA、同大専任助手、同大芸術学校客員講師等を経て平成17年熊本大学助教授。平成18年TASS建築研究所設立。平成30年より熊本大学大学院教授。博士(建築学)。主な受賞に、平成25年都市景観大賞(熊本駅周辺地域都市空間デザイン)、平成28年グッドデザイン金賞(避難所用・紙の間仕切りシステム-熊本地震での活用-)、平成29年グッドデザイン特別賞[復興デザイン] (仮設住宅団地[御船町東小坂仮設団地]) など、主な著書に『建築の森・熊本を歩く』『階段空間の解体新書』(共に平成30年・彰国社)などがある。



吉海 雄大氏(よしかい ゆうた) 熊本高等専門学校助教
 平成4年熊本県生まれ。平成25年八代高等専門学校(現熊本高等専門学校)から熊本大学へ編入学。平成27年熊本大学建築学科卒業。平成29年熊本大学大学院田中智之研究室博士前期課程修了。平成29年より同大学院博士後期課程進学、現在継続して在籍。在籍期間中に、熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター大学院生研究員、特別研究員を経て、令和2年熊本高等専門学校助教(現職)。

地方創生カレッジの対象講座

地方創生カレッジin熊本(以下、スクーリング)は、対象となる講座をより深く理解し、実際の活動に活かすために行うものです。このため、スクーリングには下記eラーニング講座を受講してからご参加ください。また、今回のスクーリングは、「地域力の底上げ」に焦点を当てた内容となっています。

スクーリング対象講座

地方創生カレッジ講座No.89
 「地方創生の課題と新しい地域振興策」【講師】岡崎 昌之 氏

地方創生カレッジの受講方法

インターネットに接続できる環境にあれば、パソコンだけでなくタブレットやスマートフォンでも学習が可能です。

<https://chihouseusei-college.jp/howtolearn.html>